

2017年12月28日

「草の根・人間の安全保障無償資金協力」

サンパウロ州サンパウロ市

「SBC病院医療機材整備計画」

に対する草の根・人間の安全保障無償資金協力の贈与契約署名式について

在サンパウロ日本国総領事館

去る12月26日（火）当館において「SBC共済会」（以下、SBC病院）に対する我が国草の根・人間の安全保障無償資金協力の贈与契約署名式をオスヴァルド・マスオ・アキモト理事長及び当館の野口泰総領事との間で行いました。

●出席者の挨拶：

野口泰総領事：「今回、日本政府から新たに医療機材を整備するために無償資金協力を行う。SBC病院は、地域特にSBC共済会運営の健康相互共済会員である日系人コミュニティへの医療サービス提供病院として、高い信頼が寄せられており、ブラジルではまだまだ浸透していない緩和ケアをJICAの協力を受けてつ主要な柱としての活動を図っておられる。理事長を始めとする職員の皆様の高齢者の方々への思いやりにも敬意を表します。この資金協力による機材の整備によって、貴団体の益々の発展に少しでも貢献できることは我々にとっても大変な喜びである。」と祝辞を述べました。

オスヴァルド・マスオ・アキモト会長：「私達は、医療機材の整備のために日本国政府に支援をしていただいたことに心から感謝申し上げます。当病院は今までは会員や職員の健康管理を考えて頑張ってきたが、今後より皆様に開かれた病院となることを目標として努力して行きたい。日本の最先端医療とは程遠い存在ではあるが日本のような発達した医療を目指して進んで行く。今回供与される機材によって、より多くの地域住民の健康に貢献することが期待されている。」と謝辞を述べました。

●案件概要:

SBC病院は、現在、ベッド数23床、医療チームとして約60人の医師が登録されており、総合病院として地域に根付いた医療サービスを提供しています。

SBC病院の2016年の年間治療件数は約33,000件、検査件数は約127,500件を行っていますが、一部機材の老朽化に伴い、最新の医療機材整備の要望がありました。

今回の協力は、移動型デジタルX線装置一台、固定型デジタルX線装置一台の整備に対し支援を行うもので、草の根・人間の安全保障無償資金協力として、66,957米ドルを限度に資金を供与します。

(お問合せ先) 在サンパウロ日本国総領事館経済班

(0 x x 1 1) 3 2 5 4 - 0 1 0 0



左より右へ：モリモト技術ディレクター、アキモト理事長、野口総領事、石井久順氏